

人文科学研究科史学専攻 博士後期課程（博士（歴史学））

＜教育課程におけるアセスメント・ポリシー＞

「学生の学修成果の評価（アセスメント）」について、学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、下記のとおり検証を行う。具体的な検証項目については、別途定めるアセスメントシートを用いて実施する。

1. 目的

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示された学生の学修成果を把握・評価することで、教育の改善・向上に結びつける。

2. 測定項目

- （1）入学段階において、学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）で求める能力・意欲が身についているか、アセスメントシートを用いて測定を行う。
- （2）教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に基づく取り組みと成果を通じて主体的、能動的な学修態度や、大学院課程で求める思考力、判断力、調査力、文章力、表現力、専門的な知識や教養、グローバルな問題意識、多角的に問題をとらえる能力、が身についているか、アセスメントシートを用いて測定を行う。
- （3）ディプロマ・ポリシー（大学の学位授与方針）で求める必要な能力が身についているか、アセスメントシートを用いて測定を行う。

3. 実施体制

アセスメントの実施主体は、史学専攻会議とする。

4. 実施および公表

- （1）アセスメントは、別に定めるアセスメントシートにより実施する。
- （2）検証結果を踏まえた教育の改善・向上の内容は、積極的に自己点検・評価書類にて公表する。